

2022 年度（対象：2019～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 1	理念・目的
------	-------

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0101	大学の基本理念・使命・教育目的を適切に設定していますか。また、それを踏まえ、学部・研究科の教育研究上の目的を適切に設定していますか。	(2) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的は、教育組織の特色を明確にしたものですか。	A
		(3) 学部(学科)・研究科(専攻)の育成する人間像は、明確ですか。	A
		(4) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的は、関連性があるものになっていますか。	B
0102	大学の基本理念・使命・教育目的および学部・研究科の教育研究上の目的を学則またはこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員および学生に周知し、社会に対して公表していますか。	(1) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的や人間像は、適切な媒体を使って明示していますか。 ・明示媒体(例えば学生便覧やホームページなど)との記述の齟齬	A
		(2) 教職員、学生、社会に対する刊行物、ホームページ等により大学の基本理念・使命・教育目的、学部・研究科の教育研究上の目的等が周知および公表されていますか。 ・構成員(教職員および学生)への周知 ・社会に対しての公表	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明	* 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
0101 大学の基本理念『『不言実行、あてになる人間』を信条とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を育成する』は、以下の5要素に分類できる。(要素1：信頼されあてになる人間。要素2：豊かな教養。要素3：自立・公益。要素4：国際的な視野。要素5：専門能力・実行力) [0101a]。本学部の「教育の目的」とこれら5要素との関連性については、要素1・3が「教育環境の改善と創造に挑戦するとともに、自ら役割を果たす能力」、要素2が「現代に生きる『乳幼児・児童生徒の人格形成』についての高い学識」、要素5が「複雑な現代社会における家庭や地域社会の子育て支援力や教育力の向上に対しても、専門家として果敢に対応できる知識や実践的能力」というように教育系学部としての	

<p>特性を踏まえた形で対応関係が成立しており、教育上の目的に関する4つの要素については、適切な目的設定となっている。しかし、要素4に関しては、学部としての目的が設定されていない。また、研究上の目的に関しては、教育上の目的ほど細分化した詳細な設定がされていない [0101b]。</p> <p>0102 大学の基本理念・使命・教育目的および学部の「教育研究上の目的」に関しては、ホームページや学生便覧で学生や社会に対して公表している [0102a] [0102b]。また、学部教職員に対しては、毎回の教授会配付資料に学部の「教育の理念」を記載する方法で周知している [0102c]。</p>	
<p>長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの</p>	
項目 No. 0102	毎回の教授会資料に学部の「教育の理念」を記載して教職員に周知。
項目 No.	
<p>課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点</p>	
項目 No. 0101	「国際的な視野」という大学の基本理念に対応した学部の教育・研究目標の設定
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

<p>対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない</p>	
0101	「国際的な視野」に関する教育目標を設定するために、学部の特性に応じた国際交流を実施するための組織として「ESD 国際情報委員会」を設け、「中部大学現代教育学部 ESD 国際情報委員会規程」を作成している [0101c] [0101d]。また、試行的な取り組みとしてカナダでの研修を2018年度（2019年3月）に実施した後、2019年度は応募学生が少なく、2020年度・2021年度はコロナ禍のため実施できていない [0101e]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0101	「国際的な視野」に対応した教育研究目標の設定

2022 年度（対象：2019～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 2 内部質保証

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0201	方針および手続きに基づき、内部質保証システムは有効に機能していますか。	(5)外部評価(学内のピアレビュー受審を含む)を自己点検・評価に取り入れていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。	
0201 本学部には点検・評価に関連する以下のような特徴がある。 他学部と異なり、定期的に外部(厚生労働省や文部科学省)の調査が入るため、これを意識して日常的に全体にわたる点検、見直しを行っている(教育課程、施設設備、教員の専門性、受講者数管理など)[0201a]。 厚生労働省に毎年、業務報告書を提出している(授業時間数、実習実施状況、職員内訳(専任、非常勤)、資格取得状況、就職状況、定員、入学者数、編入学者数など)[0201b]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0201	指定保育士養成施設指導調査、教職課程認定
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0201	外部評価に関連した予算措置
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果(【留意点】等)への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 * 成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0201	外部評価導入を目的とした予算請求を継続して行い、外部評価の実現に努める。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0201	外部評価費用の継続申請

2022 年度（対象：2019～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果（1）

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0401	授与する学位ごとに、学位授与の方針（DP）を定めて、公表していますか。	(1) 課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針（DP）の適切な設定（授与する学位ごと）を行い、公表をしていますか。 ・当該学位にふさわしい学習成果の設定 ・学位授与の方針（DP）の設定	A
0402	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施の方針（CP）を定めて、公表していますか。	(1) 授与する学位ごとに、教育課程の体系、教育内容を備えた編成・実施の方針の設定になっていますか。	B
		(2) 授与する学位ごとに、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を備えた編成・実施の方針の設定になっていますか。	B
		(3) 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施の方針を社会に対し、公表していますか。	B
		(4) 学位授与の方針（DP）と教育課程編成・実施の方針（CP）は適切な関連性となっていますか。 ・「学位授与の方針（DP）」⇔「教育課程の編成・実施の方針（CP）」との整合	B
0403	教育課程の編成・実施の方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(1) 教育課程の編成・実施の方針（CP）と教育課程の整合性はとれていますか。	B
		(2) 教育課程の編成にあたっての順次性および体系性への配慮をしていますか。（ナンバリング、カリキュラムマップ）	B
		(3) 単位制度の趣旨に沿った単位の設定をしていますか。	A
		(4) 個々の授業科目の内容および方法は適していますか。	B
		(5) 授業科目の位置づけ（必修、選択等）は適切ですか。	B

0403	教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(6)各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 【学士課程】 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 【修士課程、博士課程】 コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	C
		(8)学生の社会的および職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 *「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0401 卒業認定・学位（学士）授与方針については、学科および専攻ごとに明示している [0401a]。 現代教育学科 現代教育専攻の場合、「124 単位を取得し、『次世代教育』の在り方についての理論と技能を身に付けた専門職業人となるべく、次に示す基礎的な能力・資質などを身に付けた者に対して学位を授与する」とした上で、「基礎的な能力・資質」を「社会で必要とされる知識・技能」など3つの領域に分けて具体的に記述している。	
0402 学生便覧に各学科および専攻ごとのCPを明示している [0401a]。 さらに、CPで示した内容を具現化した科目を体系化した教育課程を学年進行に合わせて示した「教育課程系統図」を学科および専攻ごとに作成している [0402a]。 学生便覧に記載したCPに連続する頁に、それぞれの学科および専攻のDPも示し両者の対応関係が分かるようになっている。	
0403 教育課程の編成・実施方針にそった授業内容となっているのかという視点で、毎年、学部内ですべての授業のシラバス点検を行っている。初年次教育に関しては学科ごとの特性を活かし学科単位で実施しており、内容に関してはそれぞれの学科で充実を図るための見直しを不断に実施している [0403a]。 高大接続に関しては、本学部に進学する高等学校が多様であるために、高等学校間の教育課程に違いが大きく、有機的な接続が実現できていない。併設校とは併設校からの進学者の進学後の状況を伝える機会を設け、進路指導の参考にしてもらっている。教養教育・専門教育の配置に関しては、教育実習・施設実習の関係で時間割設定の自由度に制限があるなどの理由で、教養科目を履修する学期の偏りがみられる。幼児教育学科の場合は幼稚園教諭・保育士、現代教育学科の場合は小・中学校等の公立学校教員となることから、本学部においては職業的に自立した卒業生の代表的な姿と考えられる。そのため、教養科目においても必要な科目については学科ごとに指定クラスを設定する等、適切な時期に履修できるよう配慮している。また、実習実施時期も含めて科目の実施学期については常に見直しを続けている [0402a] [0403b]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 403	実習実施学期も含めて実習時期に則した科目配置 [0402a]
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0403	高大連携
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0403 教育職員免許法が改定となり、2019年度より新法対応の教育課程となった。それに伴い、順次カリキュラムの整備を進めている。また、旧法適用の学生の単位修得状況を確認し、必要に応じて旧カリキュラムでの再履修クラスを開設している [0403c]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策 (到達目標を含む)
0403	高大連携の改善

2022 年度（対象：2019～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果（2）

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0404	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じていますか。	(1) 各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るため、1年間または学期ごとの履修登録単位数の上限設定等の措置を講じていますか。	A
		(2) シラバスに次の内容を組み込んでいますか。また、授業はシラバスどおりに行われていますか。 ・ 授業の目的、達成目標、学習成果の指標、授業内容および方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法および基準等の明示 ・ 授業内容とシラバスとの整合性の確保	B
		(3) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法を講じていますか。	B
		(4) 授業の編成および管理運営は適切に行っていますか。 【学士課程】 ・ 授業形態に配慮した1授業あたりの受講者数になるように授業の編成を行っていますか。 ・ 履修指導等のガイダンスは適切に実施していますか。 【修士課程、博士課程】 ・ 研究指導計画(研究指導の内容および方法、年間スケジュール)を明示していますか。また計画に基づく研究指導を行うように取り組んでいますか。	B
0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(1) シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされていますか。 ・ シラバス記載の「達成目標」「成績評価方法」に基づく成績評価	B
		(2) 既修得単位の認定は、明確な定めに基づき適切に行われていますか。 ・ 規程等に基づく単位認定のプロセス	B
		(3) 成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認していますか。	C

0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(4) 卒業・修了要件を明確に定めていますか。	A
		(6) 学位論文審査がある場合、学位論文審査基準が明確に示され、かつ公表されていますか。	A
		(7) 学位審査および修了認定の客観性および厳格性を確保するためにどのような措置を施していますか。	A
		(8) 学位授与に係る責任体制および手続きは明確に示されていますか。	A
		(9) 適切な学位授与を行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0404 学期ごとの履修登録単位数の上限を設けている[0404a]。 シラバスには、授業の目的、成績評価の具体的な方法を記載しており、記載内容に関しては毎年、シラバス点検の機会に学科単位で点検活動を実施している。学生の主体的な参加を促す授業形態として、将来の職業に直結した演習（小・中学校等における授業を想定した模擬授業、幼稚園・保育所等での活動を想定した模擬保育）や、グループ・ワークの手法を取り入れた授業を、どの学年においても実施している[0404b]。 また、授業受講者数に関しては、クラスを2分割するなど、授業内容にあった受講生数管理を行っている[0404c]。 幼児教育学科では厚生労働省の指導により演習科目は40人以下で実施している。	
0405 すべての授業の単位認定基準は、個々の授業のシラバスに記載され、「達成目標」「評価方法」も基本的には同じ紙面に記載されていることから、受講生は単位認定基準と「評価方法」等を同時に確認することが可能である。また、成績評価に対して疑問がある学生は、定められた期間内であれば教員に確認を願い出ることができる。[0405a] 複数授業担当者により成績評価を行う場合には、それぞれの授業ごとに成績評価会議を実施するなど、評価の客観性・厳格性を保証する仕組みがあるが、単独担当者による授業の場合、それぞれの授業の専門性や短い評価期間という課題があり、評価の客観性・厳格性を担保する組織的な仕組みはつくられていない。また、2020年度より再評価期間が廃止されたため、評価期間内に補充指導を行う必要が生じている。こうした補充指導を含めた評価の在り方についても組織的な取り組みが必要となっている。卒業・修了要件は、学生便覧に明示している[0405b]。 また、学士学位審査の中心となる卒業論文審査に関しては、卒業論文査読者向けの評価基準だけでなく、様式や提出手順などを学生・教員に明示し、客観性・厳格性が確保されている。また、2020年度より、卒業研究の内容の多様化に対応するため、分野ごとに要項や審査基準を策定し開示している[0405c]。	
長所・特色 <<箇条書き>> * 先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0404	授業内容にあった受講生数管理
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> * 改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0405	補充指導まで含めた成績評価の客観性・厳格性を担保する取り組み
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
学科・専攻の専門分野に則して、卒業研究の内容の多様化が図られ、審査基準や審査方法についてもそれぞれの内容に則した基準が設けられるようにした。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0405	補充指導まで含めた成績評価の客観性・厳格性を担保する取り組み

2022 年度（対象：2019～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果（3）

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0406	学位授与の方針（DP）に明示した学生の学習成果を IR データも踏まえて適切に把握し、評価していますか。	(1) 学生の学習成果を測るための指標を定め、成果を確認していますか。 ・学習成果を測るための評価方法や評価指標（特に専門的な職業との関連性が強いものにあつては、当該職業を担うのに必要な能力の修得状況を適切に把握できるもの）	A
		(2) 成績分布、試験放棄（登録と受験の差）、進級などの実績を学部・学科として把握していますか。 ・学習成果に関する情報の把握と共有	A
		(3) 学習成果を把握および評価するために、どのような方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	B
0407	教育課程およびその内容、方法の適切性について、学位授与の方針（DP）、教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、IR データも活用して定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく定期的な自己点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	B
		(2) 自己点検・評価の結果に基づき、各組織が改善・向上に取り組んでいますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明	* 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。
0406 学生の学習成果に関しては、Tora-net の学修ポートフォリオを利用して履修状況・出席状況を把握している。また、学生ごとに入学時に個票を作成し、面談記録やプレースメントテストの結果等と併せて指導教授が保管している。この個票は3年時からの指導教授（ゼミ担当教員）に引き継ぐことで、学生情報を共有している。こうした個々	

<p>の学生に対する学習成果の把握を教員が行った上で、学科会議を開催し、学科全体で履修状況・学習成果等に関する情報共有を行い、課題がある学生に対して指導教員を中心に対応し、課題がある授業等に関しては、学部教務委員会等に報告するなどして改善を図っている。卒業生からの意見聴取に関しては、学部内に職能別同窓会を組織しており、例えば、教職に就いた同窓生を集める場等で、在籍中に受けた学部の授業等についての意見聴取を行っている。教職課程の履修状況および学習成果を把握するために4年秋学期に開講される「教職実践演習」において、教職履修カルテを作成して活用している[0406a][0406b]。</p> <p>0407 幼児教育学科は保育士資格・幼稚園教諭免許状を出すことが可能な課程であることから厚生労働省・文部科学省、現代教育学科は小・中学校教諭免許状を出すことが可能な課程であることから文部科学省から、厳格に教育課程を管理することが求められており、実地視察等の外部評価に対応できるように教育課程の自己点検・評価を継続的に実施している。</p>	
<p>長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの</p>	
項目 No. 0406	学修ポートフォリオと個票の併用
項目 No.	
<p>課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点</p>	
項目 No. 0406	卒業生等からの情報収集に向けた職能別同窓会の組織化
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

<p>対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない</p>	
<p>0407 学生支援業務の中に卒業生組織化推進を含め、担当を中心に組織づくりを進めている。COVID-19 の流行の影響で、総会等の卒業生が参集する会合を開催するのが難しい状況が続いているため、オンラインでの活動を検討している。</p>	

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0407	卒業生の動向把握のための ICT の活用

2022 年度（対象：2019～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 5 学生の受け入れ

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0501	入学者受入れの方針(AP) を定めて、公表していますか。	(1) 学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた方針となっていますか。	B
		(2) 明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。 ・入試要項とホームページ等の媒体間の記述の統一	A
		(3) 社会に対し公表していますか。	A
		(4) 下記内容を踏まえた入学者受入れの方針(AP) の設定となっていますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	B
0502	入学者受入れの方針(AP) に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していますか。	(1) 入学者受入れの方針(AP) と入試形態は整合していますか。 ・求める学生像と入試形態との整合	B
		(2) 入学者受入れの方針(AP) に基づき、大学教育を受けるための能力・適性等を判定できる入学者選抜の方法を採用していますか。 ・教育課程の編成・実施の方針 (CP) と学生募集方法、入学者選抜方法の連関 ・入学者選抜において透明性を確保するための措置	B
		(3) 授業その他の費用や経済的支援に関する情報を提供していますか。	B
		(4) 入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備はなされていますか。	B
		(5) 公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(6) 入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A

0503	適切な定員を設定し、入学者の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	(1) 入学定員および収容定員の適切な設定と在籍学生数を管理していますか。 【学士課程】 ・ 入学定員に対する入学者数比率 ・ 編入学定員に対する編入学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応 【修士課程、博士課程】 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率	A
0504	学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、IRデータも活用し、公正かつ適切に実施されているか定期的に検証を行っていますか。	(1) 学生募集や入学者選抜方法の適切性について検証していますか。 ・ 学部内委員会等において根拠資料に基づいた定期的な検証	A
		(2) 自己点検・評価の結果に基づき、各組織が改善・向上に取り組んでいますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。	
<p>0501 資格系学部であることから、入学生受け入れ方針、教育課程、卒業認定・学位授与方針等は、それぞれの学科の資格に対応するかたちでの一貫性をもっている。また、ホームページ・大学案内・入試関連資料には、それぞれの媒体に求められるニーズに応じてこれらの方針が記載されている [0501a] [0501b]。 入学生に求める学力水準等は、学科および専攻の特性により大きく異なるために、それぞれの担当者がオープンキャンパス等の折に個別に相談機会を設けて入学希望者等に対する説明を実施している [0501c]。</p> <p>0502・0504 入試システムに関しては、全学的な公正性・公平性を担保するためなどの理由で、大学入学センターが担当している。学部は学部入学者選抜委員会で、個別の入試案件について関与している(2021年度の学部入学者選抜委員会は4回開催) [0502・0504a]。</p> <p>学生募集に関しては、中部大学現代教育学部広報委員会規程(2018年4月1日施行)の第1条で「中部大学現代教育学部における広報に関する重要事項を協議するため、学部の下に広報委員会を置く」ことを定め、現代教育学部が実施する学生募集に関しては、この規定に従い学部広報委員会が中心となって学部の教育課程等に関する情報をパンフレットやホームページを利用するなどして発信し、大学受験を考える高校生等が大学や学部・学科を選択するために必要な情報を提供している [0501a][0502・0504b]。</p> <p>また、入学者選抜に関しては、学生受入方針に沿った多様な選抜をポートフォリオ入試などで実施している [0502・0504c]。</p> <p>0503 募集定員に一致する入学者数を概ね確保できており、入学・収容定員に対する在籍者数は適切である。3年次編入学に関しては、編入以前に修得した科目単位の読み替えにより免許・資格に関する単位とすることが困難などの理由で、編入生比率は低い [0503a] [0503b]。</p> <p>0504 現代教育学部広報誌「EDUCATUS」の発行により、受験生に限らず、もう少し広い層に、学生・卒業生・教員の活動を発信し、魅力をアピールしている [0504a]。</p>	
長所・特色 <<箇条書き>> * 先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0504	現代教育学部広報誌「EDUCATUS」による発信
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> * 改善すべき点、向上すべき点	

項目 No. 0504	現代教育学部広報誌「EDUCATUS」紙面のさらなる向上
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0502	大学進学を志す高校生等に提供する情報に関しては、カリキュラム改編などにより取得可能となった資格・免許に関する情報など大学側要因に関連するものだけでなく、景気動向をはじめとした大学を取り巻く社会環境要因の影響をも考慮して毎年の見直しが必要となる。
0504	学部パンフレットが大学方針により発行中止となった。その代わりに、学部広報委員会から現代教育学部広報誌「EDUCATUS」を発行して、広報活動を行っている。この広報誌には、卒業生の活躍や教員の研究内容を紹介するページもあり、受験生に対する発信にとどまらず、広い層へのアピールを目指している[0504a]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0504	現代教育学部広報誌「EDUCATUS」紙面のさらなる向上

2022 年度（対象：2019～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 6 教員・教員組織

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0602	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制していますか。	(1) 大学全体および学部・研究科等ごとの専任教員数は、適切ですか。	B
		(2) 教育理念・目的を実現できる教員組織を編制していますか。(方針等に基づく組織編制の明確化) ・教員組織の編成に関する方針と教員組織の整合性 ・各学位課程の目的に即した教員配置 ・国際性、男女比 ・特定の範囲の年齢に偏ることのないバランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師または助教)の適正な配置 ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮	B
		(3) 教養教育の運営体制を整備していますか。	B
0603	教員の募集・採用・昇格等を適切に行っていますか。	(1) 教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用をしていますか。 ・教員の募集・採用・昇格等に関する規程の整備および手続きの設定	A
		(2) 規程等に従った適切な教員人事(募集、採用、昇任等)を実施していますか。	A
0604	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上および教員組織の改善・向上につなげていますか。	(1) FD活動を組織的に実施していますか。	A
		(2) 教員の教育活動、研究活動、社会活動等を評価し、その結果を活用していますか。	A
0605	教員組織の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく定期的な自己点検・評価を実施していますか。	A
		(2) 自己点検・評価の結果に基づき、各組織が改善・向上に取り組んでいますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。	
0602 専任教員数に関しては免許法上の法定定員を最低限度の水準で満たしている。しかし、中等教育国語数学専攻に関しては、それぞれの教科を専門とする教員が本務教員として国語・数学にそれぞれ1名ずつしか所属していないなど、指導の多様性などという点から考えれば教員数は明らかに不足している [0602a][0602b]。そのため、一定の範囲内でしか、教育理念・目的を実現するための教員組織は編成できていない。なお、教養教育に関しては、全学的な組織による運用が行われており、学部の携われる領域が限られているため運営体制に関する議論はできない。	
0603 学部の採用・昇格基準に従って、採用・昇格のプロモートを行っている。学部長・副学部長・学部長補佐・学科主任を構成員とした人事WGを学部に設置し、年間計画にもとづいた人事を行っている[0603a]。	
0604 「中部大学現代教育学部FD&SD委員会規程」に従い、規程第1条に示した「中部大学現代教育学部における教育・研究内容及び教育方法を改善、向上させることを目的」とした活動を、年度ごとに重点目標を設けて実施している [0604a][0604b]。	
0605 学部の教員組織に関しては、全体を俯瞰できる組織表、それぞれの活動を企画・推進する委員会の規程に従って実施している [0605a] [0605b]。大学を取り巻く社会環境の変化等に迅速に対応できる柔軟な組織運営を行うために、毎年、職員組織および規程の見直しを行っている。具体的には、学部人事WGで教員組織の課題等を詳細に検討し次年度の教員組織原案を作成した後、学部主任者会・教授会の審議を得て、翌年度の学部教員組織を編成している [0605c]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	(なし)
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0602	教員集団の年齢に偏りがあり、学部教育の継続性等の観点から40代を増員
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果(【留意点】等)への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0602 教職課程に関連した法令・通達等に関する情報収集を行い、同じ内容を扱う授業の統合を実施するなどして、教員の授業負担を軽減した上で、小学校英語教育やSDGs推進に対応するなどした新規授業の計画	

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策(到達目標を含む)

2022 年度（対象：2019～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 7	学生支援
------	------

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0702	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備していますか。また、学生支援は適切に行っていますか。	(2) 学生の修学に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育 ・正課外教育 ・留学生等の多様な学生に対する修学支援 ・障がいのある学生に対する修学支援 ・成績不振の学生の状況把握と指導 ・留年者および休学者の状況把握と対応 ・退学希望者の状況把握と対応 	A
		(4) 学生の生活に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の相談に応じる体制の整備 ・ハラスメント（アカデミック、セクシュアル、モラル等）防止のための体制の整備および啓発活動 ・心身の健康維持・増進および安全への取り組み ・生活支援面において、方針の目的（安全で安定した学生生活を送るための基盤整備等）の支援 	A
		(5) 学生の進路に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の実施 ・学生のキャリア支援を行うための体制（学部との協力・連携を含む）の整備 ・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施 ・キャリア支援講座などの実施 	A
		(6) 学生の進路に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・博士課程における、学識を教授するために必要な能力を培うための機会の設定または当該機会に関する情報提供 	研究科のみ

	(7) インターンシップは十分に実施していますか。 【学士課程】 ・充実したインターンシップの実施 【修士課程、博士課程】 ・実施可能な体制の整備	A
	(9) 学生の要望に対応した学生支援を適切に実施していますか。 キャリア支援、保健管理、スポーツおよび文化活動の強化	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 *「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0702 学部の学生支援体制については、学生支援委員会が中心となり、「中部大学現代教育学部学生支援委員会規定」（平成30年4月1日施行）に従って、規定第2条に示した「(1) 資格関連領域以外の就職支援に関する企画・推進 (2) 初年次教育に関する企画・推進 (3) 退学・留年対策を含む全般的適応支援・指導に関する企画・推進 (4) 卒業生の組織化に関する企画・推進」を重点的に行なっている [0702a]。 また、障がいのある学生、成績不振学生、留年・休学希望学生、退学希望学生等については、指導教員や、必要に応じて学部内に在籍する臨床心理士等の専門資格を持つ教員が個別にカウンセリング等行う方法で支援を実施している。キャリア支援に関しては、キャリア支援課が大学全体の学生を対象に実施する支援と合わせて、本学部にて特化した就職支援を「中部大学現代教育学部資格関連就職支援委員会規程」（平成30年4月1日施行）にもとづいて実施している [0702b]。 具体的には、幼児教育学科学生を対象とした幼保対策就職講座、公務員対策就職講座、公務員2次3次人物試験対策講座、幼児体育指導員の資格取得講座、現代教育学科学生を対象とした教員採用試験対策講座である。また保育・教職に関連する就職先での活用が見込まれる資格として、2019年度から准学校心理士の資格を学部を設定した。但し、幼児体育指導員の資格取得講座については、2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開講できなかった [0702c] [0702d] [0702e] [0702f] [0702g] [0702h]。 この委員会を中心に支援を行う対象等は、規程第2条で「(1) 保育・幼児教育に関連した就職支援活動 (2) 義務教育学校・特別支援学校に関連した就職支援活動 (3) 保育・教職に関連した就職指導に必要な情報の収集 (4) 保育・教職に関連した就職先への学生の就職状況の把握」としている。 インターンシップ活動に関しては、全学で実施するインターンシップ活動に加えて、保育所でのインターンシップを行う科目を設置し、学部の特性に応じた就職先に対応する活動を積極的に展開している。但し、この保育インターンシップは、2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開講できなかった [0702i]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0702	現代教育学部学生支援委員会の活動
項目 No. 0702	現代教育学部資格関連就職支援委員会の活動
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0702	公務員採用試験、教員採用試験の合格者数の増加
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない

0702 前回の自己点検・評価で課題事項に挙げられた「公立保育所保育士希望者への支援の充実」を図る為に、2019年度秋学期より、幼児教育学科独自の公務員2次3次対策講座を導入した[0702e]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0702	公務員（保育職）採用試験、教員採用試験対策の充実

2022 年度（対象：2019～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 8 教育研究等環境

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0802	教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地および校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設および設備を整備していますか。	(1) 教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。	A
0806	教育研究等環境の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく定期的な自己点検・評価を実施していますか。	A
		(2) 自己点検・評価の結果に基づき、各組織が改善・向上に取り組んでいますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明	* 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。
0802	教職課程・保育士養成課程をもつ本学部では、学生数、教育方法、施設設備の充実に関して文部科学省・厚生労働省による実地視察等による厳格な外部審査を受けており、審査に適合したことから充実度が担保されている [0802a] [0802b]。
0802	2020 年度は遠隔授業に対応するため、講義室の NET 環境整備を行った [0802c]。
0802	2021 年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、講義室に喚気を促進するサーキュレーターを設置した [0802d]。
0806	教育研究活動に必要な設備等については、「学部等重点事業計画」作成時に学科、主任者会、教授会で点検・評価ならびに改善について検討を重ね、要望を行っている [0806a]。
長所・特色	<< 箇条書き >> * 先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの
項目 No. 0802	文部科学省（中央教育審議会委員等）による実地視察等への対応
項目 No. 0802	遠隔授業への対応と新型コロナ感染防止への対策
課題事項	<< 箇条書き >> * 改善すべき点、向上すべき点
項目 No. 0806	学部開設から 15 年ほど経過し、施設・設備の老朽化が進行していることへの対応

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0806	2019～2021 年度に、自己点検・評価等により、事業計画または学部長裁量経費にて実施した教育環境整備は次のとおりである[0802c][0802d][0806a][0806b][0806c]。 ○理科実験室の視聴覚設備をデジタル式に更新（タブレット等を活用した授業が普及しつつあるため） ○プログラミング教育用キットの購入（SONY MESH） ○遠隔授業に対応するため、7131、7232 講義室に Wi-Fi AP を設置 ○コロナ対策のため講義室にサーキュレーターを設置

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0806	設備・施設の計画的な更新（優先順位）と事業計画の申請

2022 年度（対象：2019～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 9 社会連携・社会貢献

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0902	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していますか。また、教育研究成果を適切に社会に還元していますか。	(2) 社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
		(3) 地域交流・国際交流事業への参加などに取り組んでいますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明	*「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。		
0902	現代教育学部においては学部開設時より、大学所在地である愛知県春日井市において社会連携活動、社会貢献活動を実施するための協定を、春日井市教育委員会と中部大学との間で「地域教育活動連絡協議会規約」を結び、学部の地域連携諸活動を発展的に継続してきている [0902a]。		
0902	春日井市を含めた、より広域な地域との社会連携および社会貢献を実施するために、社会貢献活動委員会を学部内に設けた。「中部大学現代教育学部社会貢献活動委員会規定」（平成30年4月1日施行）2条のうち、(1)「わんぱく隊」に関連した活動の企画・推進、(2)「子どもアカデミー」に関連した活動の企画・推進、(3)「すくすく隊」に関連した活動の企画・推進、(4)「劇団くれよん」に関連した活動の企画・推進、(6)「幼児教育セミナー」に関連した活動の企画・推進、の5活動を具体的に明示して、それぞれの活動を推進した（なお、(5)中部教育実践研究会は休止中）。2020年度、2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、これらの社会連携、社会貢献活動を実施することが困難であったため、各連携機関との連絡調整を行い、可能な範囲で実施した [0902b]。		
0902	国際交流に関しては、「中部大学現代教育学部ESD国際情報委員会規程」（平成30年4月1日施行）、第1条に「中部大学現代教育学部に『地（知）の拠点整備事業』（以下、COC という）において、学部におけるESD、地域連携、国際交流、情報化に関する諸事項を協議するため、学部の下にESD国際情報委員会を置く」と定め、第2条(2)で「学部の海外研修・留学生の受け入れ、国際センター諸活動との調整」として、この規程に従い毎年、カナダのケローナにおける国際交流を計画している [0902c]。		
0902	学部海外研修（カナダ・ケローナ市）は、2019年3月2日～11日の訪問以降、2020年度、2021年度と現地学校での研修、ホームステイが新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響を受け、実施できていない。		
長所・特色	<< 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの		
項目 No. 0902	春日井市を中心とした地域との連携活動		
項目 No.			
課題事項	<< 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点		

項目 No. 0902	with コロナ時代における社会貢献活動の見直し
項目 No. 0902	新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中での学部国際化

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0902	2021 年度学部委員会活動報告会における社会連携・社会貢献活動委員会報告で、コロナ禍における社会連携・社会貢献活動を推進するにあたり、「地域社会との連携を緊密にしながら、感染症対策やオンラインの活動等の工夫、あるいは新規活動の企画、従来の活動の見直しを行い、社会情勢に適応した、学生への教育活動とリンクした社会貢献活動を創り出す」とし、今後、各担当者が中心となって、計画立案と調整を行っていくことを確認した [0902 b]。
0902	2020・2021 年度の学部海外研修は、新型コロナウイルス拡大の影響で実施できなかった。2022 年度 3 月の実施に向けて計画を作成する予定である [0902 d]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0902	with コロナ時代における社会貢献活動の再構築 [0902 c]
0902	with コロナ時代における国際交流活動（学部海外研修）の再構築 [0902 d]

2022 年度（対象：2019～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 学部教授会等の主要な会議に関しては、議事録を作成している[1120a]。また、組織全般については、年度単位での見直しを実施している [1120b]。個々の委員会の活動に関しては、年度初めに活動計画を作成・検討し、年度末には活動報告書を作成し、報告書をもとにした活動報告を教授会で実施している。書類作成等の手続きの増加により業務の多忙化が進んでおり、さらに、SDGs 推進を大学の大きな方針としていることから、報告書作成に伴う紙の使用増加が自然環境に与える負荷ということを考慮した業務全般の簡素化や DX 活用が進んでいない [1120c] [1120d]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	(なし)
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	ペーパーレス化に向け会議等におけるDX活用。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	自己点検活動を中心とした学部業務内容点検の効率的実施方法の検討。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	諸会議の効率化とDX活用の可能性

2022 年度（対象：2020～2021 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	現代教育学部
--------	--------

基準 特	学長重点項目
------	--------

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
特 03	アセスメント・ポリシーに基づき、学修成果を適切に把握・評価し、3つのポリシー（DP・CP・AP）を踏まえた教育活動の検証・改善を行っていますか。	アセスメントテスト（GPS-Academic）、学生アンケート（学びに関する調査）、学生の学修動向（標準修業年限卒業率、退学率、GPA）関連資料等を検証し、入学者の選抜方法の見直し、学修成果の向上、教育課程の改善に活用していますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
特 03 現代教育学部では入学時に独自のプレイズメントテスト（現代教育専攻では国社数理英の5教科テスト、中等教育国語数学専攻では国語または数学のテスト）を実施して入学者個々の基礎学力を把握し、春学期の指導教授との面談で結果を伝え、今後4年間の学修に活用するよう指導している[特 03a]。	
特 03 両学科で、入試方式と入学後の成績（GPA など）との関連について追跡調査を行っている[特 03b]。	
特 03 現代教育学部では GPA で一定の基準を満たすことが教育実習参加要件の一つとなっているため、前学期の学修成果を反省しつつ次学期の学修に向かう、という流れになっている[特 03c]。	
特 03 幼児教育学部では教育目的と学修動向に合わせた初年次教育方法の改善を行っている。保育所見学や新聞読解などの学科独自の取り組みを通して保育者への意識、基礎学力の向上を図り、主体的に4年間の学修目標を作成し取り組むように指導している[特 03 d]。	
特 03 保育・教育実習参加要件や保育士資格・幼稚園教諭免許のチェックリストを導入・活用することで、個々の学修成果を可視化し、自己反省や次学期の学修意欲の向上につながるように指導している[特 03e]	
長所・特色 <箇条書き> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 特 03	独自プレイズメントテストの実施と活用[特 03a]
項目 No. 特 03	保育・教育実習参加要件や保育士資格・幼稚園教諭免許のチェックリストの活用により、高い資格・免許取得率につながっている[特 03e]。
課題事項 <箇条書き> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 特 03	教育実習不参加学生の学修意欲向上のための方策[特 03c]。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
特 03 教育実習参加条件を、学生の実態に即し学修意欲を高めるものに継続的な見直しを行っている[特 03c]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
特 03	教育実習不参加学生の学修意欲向上のための方策[特 03c]。

2022年度 現代教育学部 自己点検・評価シート 根拠資料一覧

基準 (シートNo.)	根拠資料No.		根拠資料の名称	提出 区分
	項目No.	記号		
1. 理念・目的 (NF0101)	0101	a	中部大学HP 基本理念・使命・教育目的 大学概要 https://www3.chubu.ac.jp/about/philosophy/	○
	0101	b	現代教育学部HP 教育研究上の目的 https://www3.chubu.ac.jp/education/aim/	○
	0101	c	2021年度現代教育学部運営組織	○
	0101	d	中部大学現代教育学部ESD 国際情報委員会規程	○
	0101	e	現代教育学部海外教育研修 報告書	○
	0102	a	中部大学HP 基本理念・使命・教育目的 大学概要 https://www3.chubu.ac.jp/about/philosophy/	○
	0102	b	現代教育学部HP 教育研究上の目的 https://www3.chubu.ac.jp/education/aim/	○
	0102	c	2021年度 第13回 現代教育学部教授会 議題・報告事項	○
2. 内部質保証 (NF0201)	0201	a	東海北陸厚生局 指定保育士養成施設指導調査記録	○
	0201	b	指定保育士養成施設業務報告書	○
4. 教育課程・学習成果(1) (NF0401)	0401	a	現代教育学部CPDP	○
	0402	a	学科専攻科目系統図	○
	0403	a	スタートアップセミナーシラバス (PY)	○
	0403	b	中等教育国語数学専攻時間割	○
4. 教育課程・学習成果(2) (NF0402)	0403	c	現代教育専攻時間割	○
	0404	a	履修単位の上限の規定	○
	0404	b	マイクロティーチング演習シラバス	○
	0404	c	教育の方法と技術Aシラバス (同一内容の複数クラス展開)	○
	0405	a	学生部便192号	○
	0405	b	幼児教育学科卒業要件	○
4. 教育課程・学習成果(3) (NF0403)	0405	c	現代教育学科卒業研究執筆要項	○
	0406	a	2021入学者個人面談票	○
5. 学生の受け入れ (NF0501)	0406	b	履修カルテ2学生記録用 (小学校) 2019入学生	○
	0501	a	大学ホームページ 現代教育学部 3つのポリシー https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/	○
	0501	b	中部大学HP 大学案内2021 https://www2.chubu.ac.jp/digibook/univ_guide/2021/html5.html?_fsi=QCLiZ5S6#page=1	○
	0501	c	オープンキャンパス チラシ (2021夏) https://adm.chubu.ac.jp/event/docs/2021summer.pdf	○
	0502・0504	a	現代教育学部入学者選抜委員会規程	○
	0502・0504	b	中部大学現代教育学部広報委員会規程	○
	0502・0504	c	2022年度 ポートフォリオ入試 入学試験要項	○
	0503	a	大学HP 情報公表 入学試験結果 (学部) https://www3.chubu.ac.jp/attach/facts_figures/data/2-01.pdf#page=1	○
	0503	b	大学HP 情報公表 入学試験結果 (3年次編入学) https://www3.chubu.ac.jp/attach/facts_figures/data/2-02.pdf#page=1	○
	0504	a	現代教育学部HP 現代教育学部広報誌「EDUCATUS」 https://www3.chubu.ac.jp/education/news/25502/	○
6. 教員・教員組織 (NF0601)	0602	a	中部大学HP 法令定員と教員組織 (2021年度) https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/	○
	0602	b	教職課程必要専任教員数	○
	0603	a	現代教育学部昇格・採用基準	△
	0604	a	中部大学現代教育学部FD&SD 委員会規程	○
	0604	b	2021年度学部等におけるFD活動推進計画書	○
	0605	a	2020年度学部等におけるFD活動評価点検報告書	○
	0605	b	中部大学現代教育学部委員会規程	○
	0605	c	現代教育学部 運営組織	○
7. 学生支援 (NF0701)	0702	a	中部大学現代教育学部学生支援委員会規程	○
	0702	b	中部大学現代教育学部資格関連就職支援委員会規程	○
	0702	c	2019 年度入学生 幼保就職講座予定表	○
	0702	d	公務員対策就職講座説明資料	○
	0702	e	公務員二次・三次人物試験対策講座 予定表	○
	0702	f	幼児体育指導員 受験要項 (中部大学)	○
	0702	g	教員採用試験対策講座 教職教養対策説明資料	○
	0702	h	准学校心理士学生への説明資料	○
	0702	i	保育インターンシップ説明資料	○
	8. 教育研究等環境 (NF0801)	0802	a	東海北陸厚生局 指定保育士養成施設 指導調査記録
0802		b	実施視察大学等別報告書 (中部大学)	○
0802		c	WiFi AP設置 (7131、7132講義室)に関する要望書	○
0802		d	サーキュレーターを設置した講義室の写真	○
0806		a	2022・2023年度以降における教育研究に係る学部等重点事業計画案について	○
0806		b	2019年度 中期予算計画調査票 (回答)	○
9. 社会連携・社会貢献 (NF0901)	0806	c	2019～2023年度中期予算計画調査票	○
	0902	a	春日井市 地域教育活動連絡協議会の設置に関する協定書	○
	0902	b	中部大学現代教育学部社会貢献活動委員会規程	○
	0902	c	中部大学現代教育学部 ESD 国際情報委員会規程	○
11. 大学独自の評価項目 (NF1101)	0902	d	2022年度中部大学海外留学・研修奨学金制度 短期研修プログラム実施計画	○
	1120	a	2021年度 第1回現代教育学部教授会議事録	○
	1120	b	2021年度 第11回主任会次第	○
	1120	c	2021年度 委員会活動計画	○
特. 学長重点項目 (特03)	1120	d	2021年度 委員会活動報告書	○
	特03	a	ブレイスメントテスト 採点結果	△
	特03	b	現代教育学部入学者一覧に成績項目を加えた資料	△
	特03	c	「観察実習」「小学校実習」の参加・履修条件 「中学校教育実習 (国語・数学)」の参加・履修条件	○
	特03	d	2021年度スタートアップセミナープログラム (PY)	○
	特03	e	保育士資格・幼稚園教諭免許チェックシート 2021年度保育実習・教育実習の参加・履修要件	○

提出区分 … ○: 本シートと一緒に提出する資料 △: 現部署で保管